

徳島県鉄骨構造協同組合

技術講習・品質サポートによる人材育成を通じて 地域の発展に貢献！

サマリー

近年、大地震や大型台風といった災害発生により、住宅・ビルの安全性に対する社会の関心がますます高まっています。優れた耐震性をもち、地球に優しい素材である“鉄骨”のニーズも高まってきている中、当組合は組合員の技術力の向上・品質の確保に努めています。

I. 組合設立の背景と目的

本組合は、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ることを目的として、1974年4月に設立されたものです。

その背景には、1973年のオイルショックによる景気の沈静から、当業界において需要が悪化、加えて資材が入手困難・価格の高騰・賃金の上昇などにより苦しい状態がありました。そのような環境を打破するため、全国的に各県下で鉄鋼組合が組織化され、徳島県下でも安値受注などの排除等を目的に組合結成の動きが見られました。

徳島県鉄骨構造協同組合の設立にあたり、徳島県下の建築用鉄骨製造業者の志を同じくする企業56社が集いました。①業界の団結と結束・体質強化・経営基盤の安定、②ゼネコンへの理解と協力を重視していたことが記録に残っています。



井原 常裕 理事長



徳島県中小企業団体中央会創立60周年記念
徳島県知事表彰受賞

II. 組合の沿革について

1974年	徳島県鉄骨構造協同組合を組合員56名により設立
1991年	青年部会を結成
1996年	人材高度化事業の実施を始める（～1998年） 共同事業として建設業の認可、鋼構造物工事の共同受注・受注斡旋を開始（～2006年）
2002年	組合員の積算負担の軽減のための有限会社日本鋼構造積算（現：株式会社コレクトマーク一級建築士事務所）を設立
2004年	人材確保推進事業の実施（～2006年）
2013年	一般社団法人全国鐵構工業協会創立40周年記念表彰 受賞
2015年	徳島県中小企業団体中央会創立60周年記念 徳島県知事表彰受賞 徳島県中小企業団体中央会創立60周年記念 全国中小企業団体中央会会長表彰受賞（青年部）
2019年	中小企業等協同組合法施行70周年記念 中小企業庁長官賞受賞

III. 事務局体制

1. 事務所の機能、業務

事務所は徳島県職業能力開発センター内に所在しており、事務局長1名、事務局員1名の2名体制をとっています。

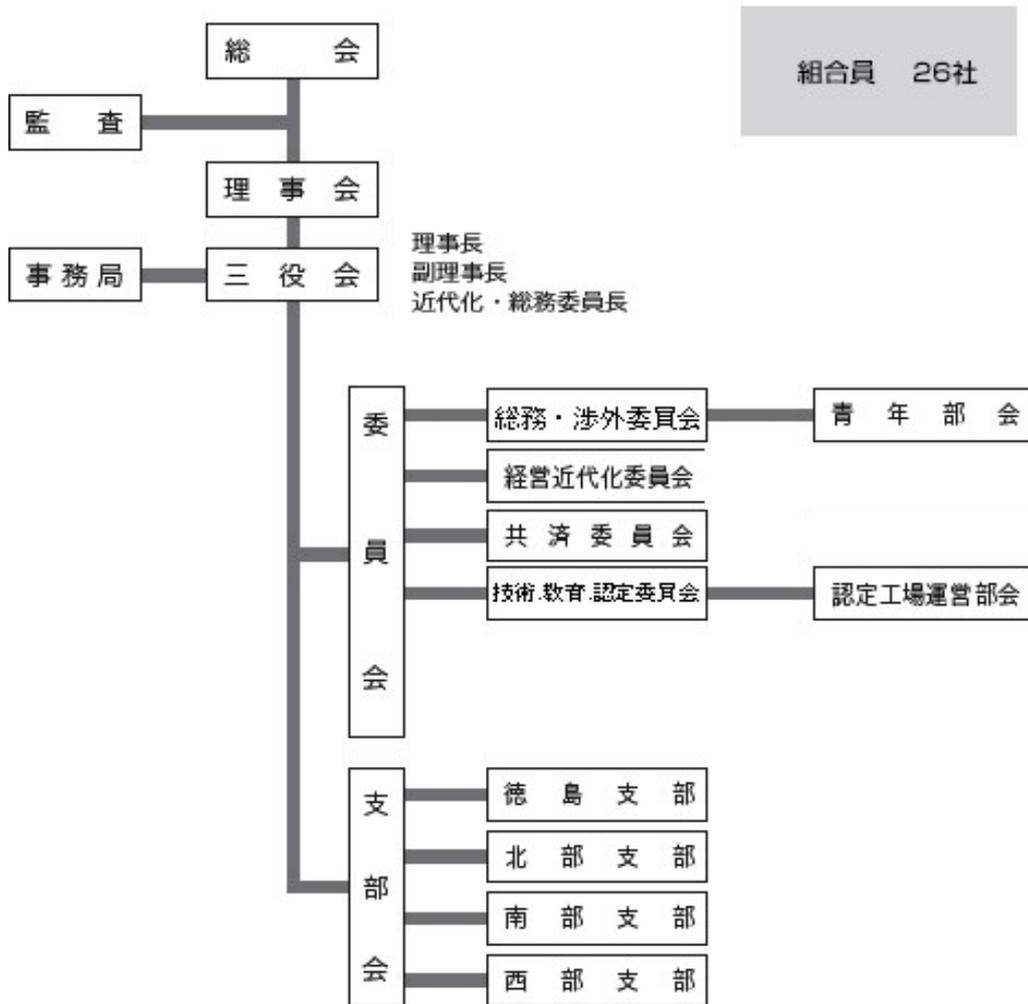
事務局が中心で行う業務の一つには組合員の資格取得支援として、講習会の開催や書類作成のアドバイスを行っています。また、組合員との情報共有のツールとして「ファブネット徳島」を1997年から発行しています。

2006年には組合のホームページを立ち上げました。組合員の認定工場名簿が掲載されており、賛助会員企業等も情報が得やすいよう随時更新しています。組合員のみがアクセスできる専用ページも設けています。

組合内部の組織としては、総務委員会や経営近代化委員会のほか、当組合員は徳島県下全域にわたっているため、徳島支部、北部支部、南部支部、西部支部の4支部があり、支部会も年2回開催して情報共有に取り組んでいます。

その他にも一般社団法人全国鐵構工業会の四国支部に所属し、四国支部を中心に、組合員が県内外との交流を持てるよう運営を行っています。これらの活動を通して長年築いてきた協力関係が、青年部など現在の活動にも良い影響を与えています。

組合組織図



IV. 共同事業等の取り組み

- ①共同購買事業
- ②共済制度の取り扱い
- ③教育情報事業

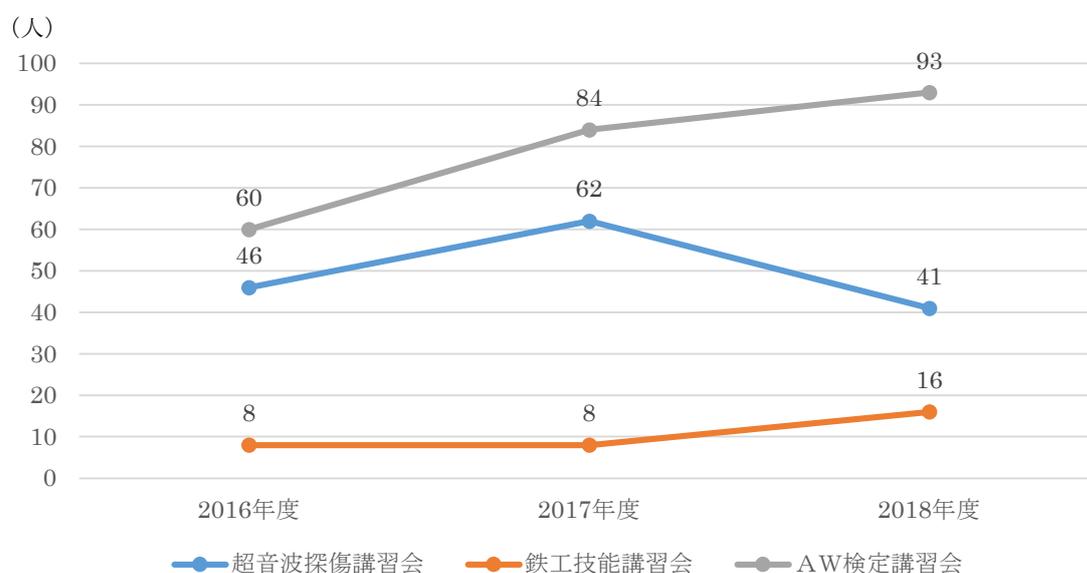
国土交通大臣認定 建築鉄骨溶接構造の「性能評価」の取得推進しているため、各種講習会を実施して認定取得のための支援に取り組んでいます。

鉄骨製作工場の認定制度は、1978年の全構連の自主認定制度としてスタートしましたが、その後大臣認定の評価制度として推移しています。工場審査に合格し、国土交通大臣の認定を受けるためには、性能評価基準に則り、自社工場の品質管理、生産プロセスを作り

上げ、かつ工場で実行されなければなりません。

このため、当組合では組合員に国土交通大臣認定の「性能評価」を推進しており、組合員が「性能評価」取得のための技術支援、品質サポートを実施しています。特に、「超音波探傷」、「AW 検定」「鉄工技能」などの講習会を開催し、認定取得を人材育成の観点から支援しています。現在、組合員26社のうち22社が性能評価を取得、グレードアップしている組合員もいることからこれらの講習会の成果が見受けられます。

[直近3カ年の講習会テーマ別参加者推移]



④青年部

次世代を担う青年部では、年6回の会議や四国青年部連絡協議会も組織しています。青年経営者・後継者のための経営研究会や工場見学会も毎年実施しています。結成当時に青年部員であった方が、現在では組合の役員として活動しています。

若手経営者にとっては情報交換の場が貴重なものですが、時間・費用の確保が課題となっています。それを解決するため、四国四県の青年部では必要な機材をそろえてネット会議を実施するなど、効率よく迅速に取り組んでいます。

⑤諸会議（総会・理事会・情報連絡会議等）

年に1回開催される総会を含め、理事会・各種委員会を定期的に行っています。特に月に1回は情報連絡会を開き、組合員及び積算会社社長と業界の情報を共有して勉強し合う場を設けています。

V. 地域貢献・社会貢献

1. 半自動溶接機1台寄贈

2018年度には、溶接技術競技会に出場の高校（徳島県立科学技術高校）に対して、半自動溶接機1台を寄贈し溶接技術振興に貢献しています。

2. DVD「鉄骨ガールと工場見学」を配布

次世代を担う中学・高校生を中心とする若い方々、また、先生方、ご両親にも、「鉄骨製造業」を理解していただき、関心をもっていただければと、一般社団法人全国鐵構工業協会が作成した動画を、2016年度に徳島県内実業高校等13校へ配布しています。この動画は、アニメーション、CG技法を駆使し、物語形式の展開の中で「鉄骨製造業」を分かり易く解説しています。これからの女性進出や人手不足対策、将来の技術継承にも役立つものと期待しています。



3. 渡り廊下の建設

2013年から4年間、徳島県立中央テクノスクールの校内渡り廊下を当組合青年部が学生を指導して建設しました。組合員企業の中でも現場を体験したことがない若手社員にも参加を募り、若手の人材育成も行いました。



学生が業界に興味を持ってもらう機会を提供することで、人材不足などの課題解決に繋がる取り組みでもあります。今後も可能な限り、協力していきたいと考えています。

VI. 今後の方向性

事務局設立当初に目指した目的のうち、技術向上、共済事業などは大きな前進が見られましたが、安値受注など経営基盤の確立に関する課題は、今もって根本的に改善されていないのが現状です。組合員全員の力を合わせて、経営課題を話し合い、解決していくことが今後の組合活動をさらに活発にできる鍵と考えております。

■中央会担当指導員の言葉



藤原主事

紹介文にあるように、徳島県鉄骨構造協同組合では、一年を通して数多くの講習会を開催され、青年部活動も活発です。研修を数多く開催するには、発案、企画、実施、報告など様々な業務が必要で、簡単なものではないと思います。

組合役員、組合員、青年部員、組合事務局が良い関係を築き情報共有が密にできているからこそ実現しているのだと思います。

理事長が、「組合に入っているだけでは、意味はない。会合等に参加して組合に入ることのメリットは自分で生み出さなければならぬ」とおっしゃっていました。

そのような意識で、組合員皆さんが、一丸となり活動されていることが、皆のモチベーションを高め、よいサイクルを生み出されているのではないのでしょうか。

《組合概要》

住所 徳島市新浜町一丁目1-7

URL <http://tokushima-tekkotsu.com/>

電話番号 088-663-2551 FAX番号 088-663-0475

組合代表者(役職・氏名) 理事長 井原 常裕 出資金390万円

主たる業種 建設業(鉄骨構造物工事)

組合専従職員数 2名 組合員数 26名

組合員の資格 本組合の管轄地区内(徳島県)において事業場を有するものであり、鉄骨構造物工事を営む事業者が加入できます。

設立年月日 昭和49年4月11日 設立後の経過年数 45年